

## 2023年度

科目名称	愛玩動物学
授業コード	BC107
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	柳澤 綾 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。なお、本科目は「愛玩動物看護師カリキュラム」対応科目である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義では、動物病院での実務経験を持つ本学教員（柳澤）が、今後の大学での学習や実践的活動の基礎となる知識や技術について実務経験や専門性を生かして講義する。
到達目標	<p>犬、猫の歴史、品種（血統や血統書を含む）、飼育管理の方法、取り扱い方、その活用やケアの方法を理解する</p> <p>代表的なエキゾチックアニマルの種類と特徴、生態、飼育管理について理解する</p> <p>使役動物の特徴と歴史や現状、育成、福祉等について理解する</p> <p>本講義はカリキュラム・ポリシーに掲げる「関係資格取得のためのカリキュラム」に該当する。</p>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 犬の飼育の歴史・生態・特徴・現在の飼育状況</p> <p>第3回 犬の代表的な品種と特徴/血統と血統書</p> <p>第4回 犬の飼養管理（飼養環境、健康管理）</p> <p>第5回 犬の飼養管理（基本的なグルーミング、ハンドリング）</p> <p>第6回 犬の活用・使役犬と補助犬</p> <p>第7回 猫の歴史・生態・特徴・現在の飼育状況</p> <p>第8回 猫の代表的な品種と特徴/血統と血統書</p> <p>第9回 猫の飼養管理（飼養環境、健康管理）</p> <p>第10回 猫の飼養管理（基本的なグルーミング、ハンドリング）</p> <p>第11回 愛玩鳥の飼養管理</p> <p>第12回 エキゾチックアニマルの飼養管理（ウサギ、フェレット）</p> <p>第13回 エキゾチックアニマルの飼養管理（げっ歯類）</p> <p>第14回 エキゾチックアニマルの飼養管理（カメ等）</p> <p>第15回 まとめ（理解度の確認）</p>
授業の進め方	教科書の内容を網羅しつつ、パワーポイントを使用した授業形式で、映像資料など適宜活用する。
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。</li> <li>・クリッカーシステムまたはWebアンケートを活用し講義の理解度を振り返る演習を適宜実施する。</li> </ul>
授業時間外の学修	教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計 60 時間程度）
教科書・参考書	教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻（動物行動学/愛玩動物学/比較動物学），（編者）一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会，エデュワードプレス

## 2023年度

成績評価方法と基準	試験（70％）と出席状況（30％）により評価する。
課題等に対するフィードバック	学生からの授業に関する質問やコメントは適宜授業で取り扱い、受講生にフィードバックする。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	飼育実習（動物看護基礎実習）の事前準備の内容であり、愛玩動物看護師の必須科目でもあるため、原則として履修すること。授業計画の順序は変更される可能性があるので注意すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方 授業動画配信または資料配布によるオンデマンド授業とする</p> <p>成績評価方法と基準 授業中課題および出席状況(資料のダウンロード状況)50％と試験（15回目の理解度の確認）50％で評価する。</p>